

会長賞

都市計画道路 環状1号線ツインハープ橋橋梁整備事業

(表彰対象者：北海道旭川土木現業所)

表彰の理由

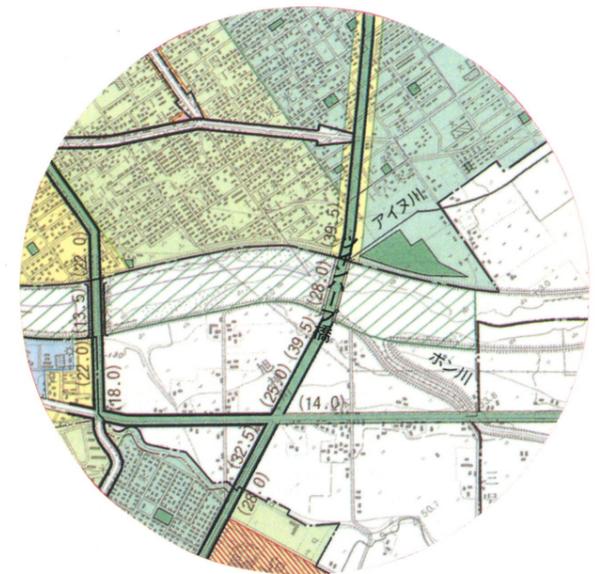
最新技術により施工され、土木技術の向上に貢献するとともに、市民の意見を反映したデザインにより新たな市のシンポルの景観が創出された。

事業のあらまし

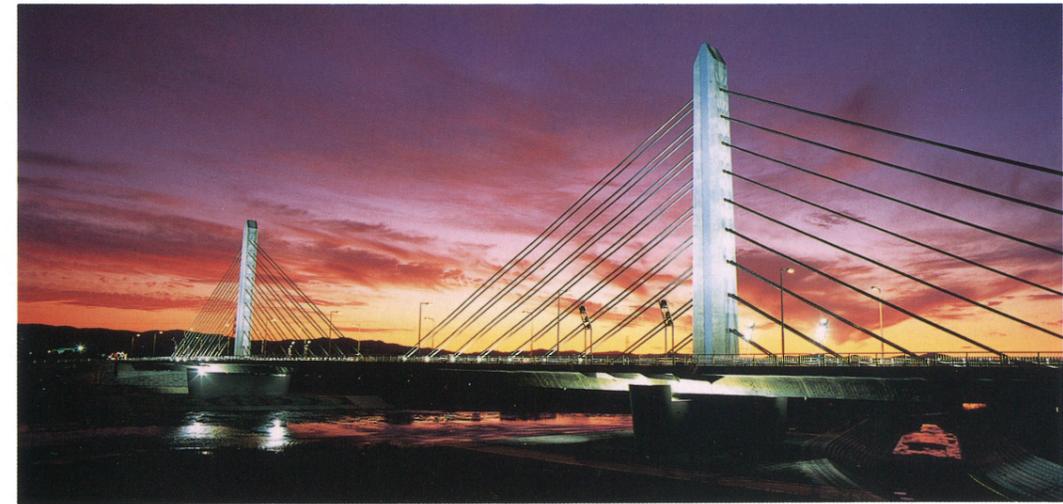
環状1号線は、北海道第2の都市・旭川市の道路網のなかで、内環状をなす最も重要な都市計画道路であり、旭川市及び周辺町村の交通量が增大するにいたって、市内に流入する交通を円滑に配分することが必要となり、早急な整備が望まれていた。特に、ツインハープ橋が計画された箇所は、環状1号線が忠別川と交差する部分であり、未開通区間であったため、新興住宅地として急速に伸びている東光地区と医大や高校などが集中している緑が丘地区が分断されていた。そのため、北海道の重点事業として整備したものである。

- 延長：280m
- 幅員：28m
- 事業費：4,200百万円
- 事業実施期間：昭和62年12月～平成3年9月

堤防の上から見たところです。この橋の特徴である一面吊りの斜張橋の美しさが表現されています。



バルコニーです。橋長280mなので、4箇所のバルコニーを設け、歩行者にやさしい、親しめる橋にしました。



ライトアップの写真です。2本の主塔が夜空に突きささるように浮かび、ランドマークとして強調されます。



整備前の写真です。手前中央が環状1号線で川によって緑が丘地区(前)と東光地区(奥)が分断されています。

事業遂行上の工夫

施工面においては、斜材ケーブルの一括緊張、移動足場による主塔施工、自動計測による上げ越し管理など斜張橋の技術を確立した。

デザイン設計面においては、専門家や一般市民の意見を反映すべく景観検討委員会を設置し、全体から細部に至るまで検討した。なお、開通時は、市民1万人参加による盛大なフェスティバルを行った。